

MINATO

JUN.1998

号外

たろう通信

港区議会議員 ことさい太郎 議員活動リポート

編集：小齊太郎事務所
〒1070062
港区南青山 6-13-4-605
TEL 5485-9111
FAX 5485-9100

新党さきがけは、次期参議院議員選挙に

比例代表区 井出正一氏を公認

東京地方区 中村敦夫氏を推薦

中村氏は無所属でさきがけ単独の推薦

中村敦夫

なかむら あつお

1940年東京生まれ
都立新宿高校卒業、東京外国語大学中退

1963年俳優座入団後、ハワイ大学への奨学生留学等を経て、テレビドラマ「木枯らし紋次郎」で一躍脚光を浴びる、その後、小説「チェンマイの首」を皮切りに、文筆活動に力を注ぎ、一方で、情報番組キャスターとしても活躍、また、月刊「中村敦夫新聞」の発行者でもある、1995年新党さきがけより参議院議員選挙に出馬するも、惜敗

現在、俳優、監督、脚本家、小説家、キャスター、新聞発行人とあらゆる分野において才覚を発揮し活躍中

井出正一

いで しょういち

1939年長野県臼田町生まれ
県立野沢北高、慶応大学経済学部卒業

家業の酒造業に従事後、1986年父一太郎の後継として衆議院議員に当選、1993年新党さきがけ結党に参加、厚生大臣・新党さきがけ代表を歴任、1996年衆議院議員選挙で惜しまれながら落選

現在 日中友好協会・同文化交流協会・日本鳥類保護連盟他の役員などで活躍中

直而不阿

ちよくにしておもねず

井出正一

5年前、さきがけ結党の折、評論家立花隆氏は「文春」に「自民党の良質分子」と評価したうえで、「彼らは今の政治に幕末を見たのだろう。平成維新の志士たらんとしているのだろうが、忘れないで欲しいのは、明治維新も簡単に成ったのではない。屍を累々と重ねる覚悟有りや否や」と書いてくれました。

政治の混迷が続くとき、さきがけの掲げる政治理念と果たすべき使命は終わってはおりません。政治の信頼を回復し、21世紀の日本の進路を決めるためには、志と能力のある少数精鋭の政治集団をもう一度再構築するしかありません。右往左往せず、さきがけに進路を見出すべく汗をかくことが政治を志した者としての道であり、創立メンバーの一人として、また党の代表を勤めた者としての責務と考えます。10年の経験を活かして全力を尽くします。

新党さきがけで参院選をたたかう理由

港区議会議員

小齊 太郎

私は、新党さきがけの結党の理念に賛同し、公認候補として前回の区議選に出馬しました。新党さきがけは結党以来、その理念を政策として結実させるべく、一步ずつ努力を続けて参りました。私も区政において、地域の独自性を尊重しながら、その理念に基づき行動してきました。それは、国会議員がたった5人になった今でも変わりません。時として、みなさまからさまざまなご批判を頂き、そのことについては率直に反省し将来の糧とさせて頂いておりますが、活動の原点である結党の理念は誤りでなく、むしろ21世紀の新しい日本、真に国民が主人公の新しい政治を実現するためには、ますます重要性を増しているものと確信しています。最近の国政の状況は、「反自民」「非自民」の言葉に象徴されるように、自

民党が権力を握るか、自民党以外が権力を握るかという、永田町の権力争いに終始しています。しかし、長引く不況や教育の荒廃、公務員の不祥事など、これまでの社会体制の歪みが一気に露呈しはじめており、早急に日本の新しい進路と目標を示し、前進を始なければなりません。それには、政治家一人一人が自らの信念を抱き、それをぶつけ合い議論することが必要です。権力を手にするためだけに数を求め、みずからの信念を捨てたり、薄めたりすることがこの国をよくすることなのでしょうか。それでは、明確な日本の将来像を示すことなど不可能です。

私は、「さきがけ」の理念が変わることなく、「さきがけ」としてその実現を愚直に求めていく姿がある限り、とくに行動したいと思えます。

特に、この度ご紹介したお二人は、さきがけの理念の体現者であり、行動者であります。何卒、ご賛同頂き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、いくつかのお願い事項を別紙にまとめましたので、ご協力頂ければ幸いです。重ねてお願い申し上げます。

新党さきがけの基本理念

憲法理念の尊重

私たちは、日本国憲法の理念を尊重する。憲法がわが国の平和と繁栄に寄与してきたことを高く評価するとともに、時代の要請に応じた見直しの努力も傾け、憲法の理念の積極的な展開を図る。

キラリと光る国

私たちは、この国を愛する。自ら国を守る努力を堅持するとともに、再び侵略戦争を繰り返さない。政治的・軍事的な大国主義はとらない。地球環境を中心に、顔の見える外交と非軍事的貢献を積極的に推進し、小さくてもキラリと光る国を目指す。皇室を尊重するとともに、美しい国土と伝統的文化を守る。

環境主義

環境の悪化は人類と地球の未来を奪おうとしている。もはや一刻の猶予もならない。私たちは、ここに毅然として環境主義を標榜し、環境立国を掲げる。人類は自然との調和の中でしか存在できないことを確認し、世界に先んじて環境負荷をゼロに近づける社会経済の構築に挑む。

質実社会

私たちは、自立と責任を時代精神に据え、社会的公正が貫かれた質の高い実のある社会を目指す。贅沢と浮華を排す。自然に対する謙虚さ、他者に対する思いやり、悪を許さない人間的強さを有した国民でありたい。

女性が活躍する社会

私たちは、真の男女平等の達成を目指す。政治はもちろんのこと、あらゆる意思決定プロセスへの女性の参加を進め、男女が共にその能力を発揮し、生き生きと活躍できる社会を実現する。

連邦国家

明治以来の中央集権官僚国家と決別し、地域に固有な歴史と自然を背景とする、多様で個性的な連邦国家の建設を主唱する。地方分権ではなく、地方主権の確立である。一つ一つの地域は「まほろば」であり、国の中心である。引き続き政治と行政と司法の着実な改革に取り組む。